

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

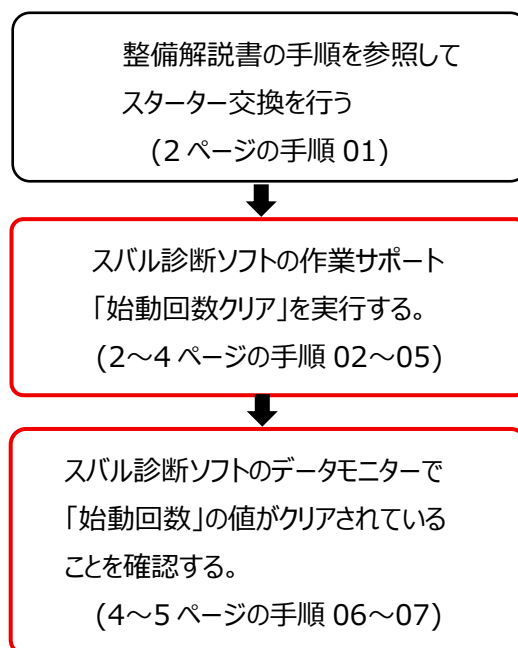
スバル/アイドリングストップ車でのスターター交換後の始動回数クリア (レヴォーグ/VM4 での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1.作業サポート「始動回数クリア」について

- アイドリングストップを採用しているスバル車ではスターターの交換を行ったあと、スキャンツールの作業サポート「始動回数クリア」を使用します。
- 本書ではレヴォーグ(VM4)での操作例を紹介します。
- レヴォーグでの作業サポート「始動回数クリア」の手順は以下となります。



(次ページに続きます)

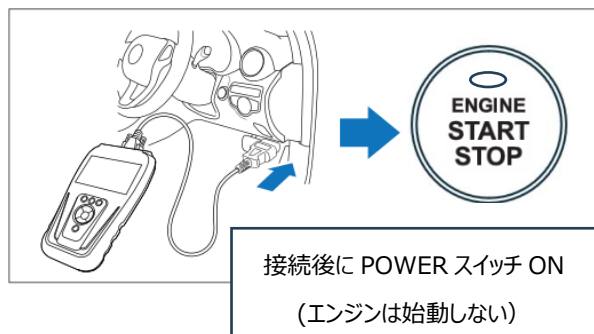
2.HDM-10000 用スバル診断ソフトの「始動回数クリア」の操作手順

【手順 01:スターター交換】

整備解説書の手順を参照してスターター交換を行ってください。

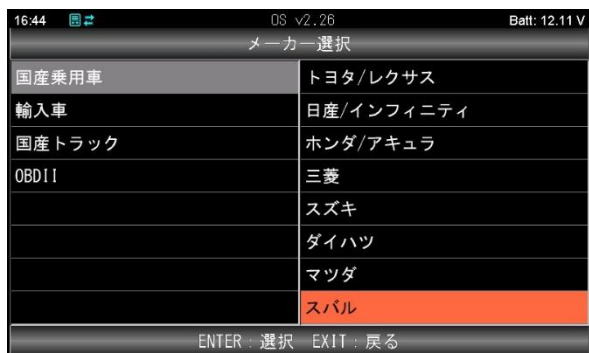
【手順 02:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にしてください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「診断」を選択して ENTER キーを押してください。

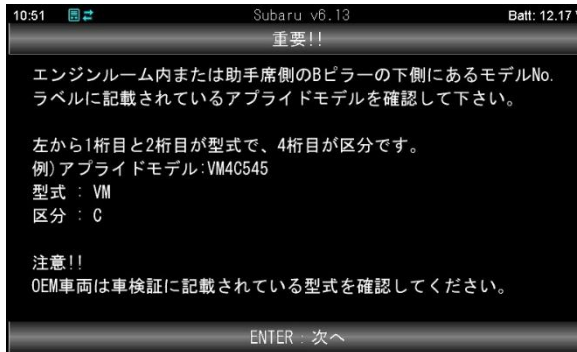


【手順 03:スバル診断ソフトの起動⇒アプライドモデルの型式と区分の確認まで】

- ①「メーカー選択」の画面が表示されたら「国産乗用車」を選択し、画面の右側の一覧で「スバル」を選択して ENTER キーを押してください。スバル診断ソフトが起動します。



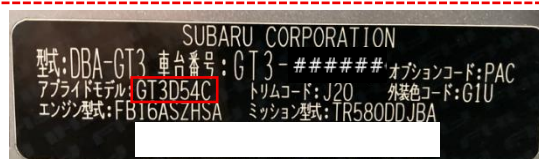
- ②「地域」が表示されたら「日本」を選択して ENTER キーを押してください。次に「重要!!」の表示内容にそってアプライドモデルの型式と区分を確認して ENTER キーを押してください。



【解説】モデル No.ラベル内のアプライドモデルの確認について

3 ページの手順 04 の①の車型の選択に必要な情報を読み取ります。

右図の赤枠内の左から 1 桁目と 2 桁目が車型、左から 4 桁目のアルファベットが区分となり、右図の例では「GT D」と読み取ります。



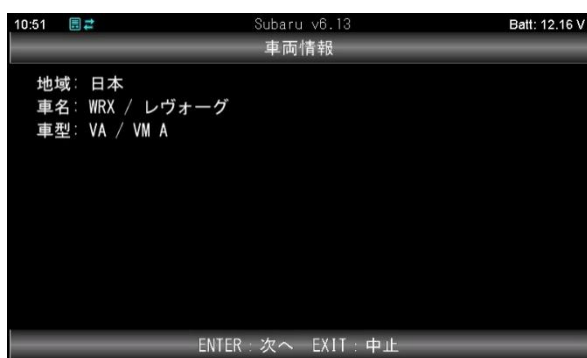
(次ページに続きます)

【手順 04:車名を選択⇒始動回数クリアの選択まで】

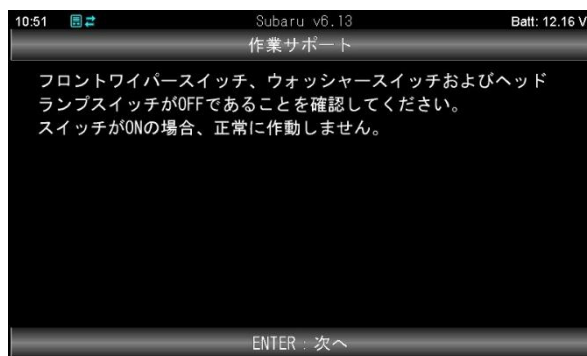
- ①「車名」が表示されたら該当する車名を選択して ENTER キーを押してください。次に「車型」が表示された 2 ページの手順 03 の②で確認した車型と区分の組み合わせを選択して ENTER キーを押してください。



- ②「車両情報」が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。次に「スバルメインメニュー」が表示されます。「作業サポート」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③作業サポートを実行する際の注意画面が表示されたら内容を確認して ENTER キーを押してください。「車両搭載システム確認中」がしばらく表示されたあとシステム選択画面が表示されます。「アイドルングストップ」を選択して ENTER キーを押してください。



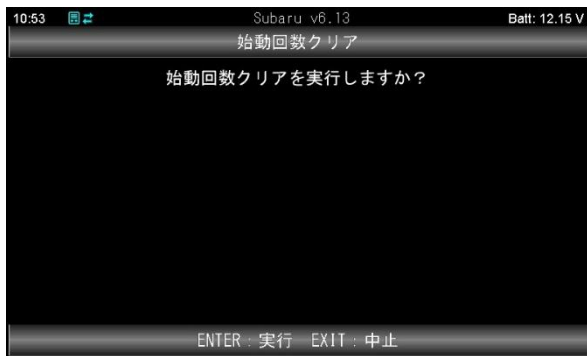
- ④「アイドルングストップ」の機能選択画面が表示されたら「始動回数クリア」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 05:始動回数クリアの実行】

「始動回数クリアを実行しますか?」と表示されたら ENTER キーを押してください。「実行しました」が表示されることを確認してください。



【手順 06:始動回数の確認①/データモニターの選択まで】

①「実行しました」の画面で EXIT キーを 3 回押して「スバルメインメニュー」に戻ってください。次に「スバルメインメニュー」が表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押してください。



②「診断選択」が表示されたら「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。次に「システム選択」が表示されたら画面を下方方向にスクロールさせ、「アイドリングストップ」を選択して ENTER キーを押してください。



③「アイドリングストップ」のメニュー画面が表示されたら「データモニター」を選択して ENTER キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 07:始動回数の確認②/データモニターの選択まで】

①「表示項目選択」の画面が表示されたら方向キー右を操作して「開始」(赤矢印で示す箇所)を選択して ENTER キーを押してください。



②データモニター画面をスクロールさせて「始動回数」がリセットされているか確認してください。
なお、画面のスクロールは HDM-10000 本体前面の PAGE DOWN キーの押下で 1 画面ごとスクロールさせることが可能です。



項目	値
完爆判定	不成立
ミス判定	成立
エンジン判定	不成立
始動回数	0 回
アイドルストップ後経過時間	0 ms
始動後経過時間	0 ms

データ保存 印刷

(2026.06.15 発行)